	<b>'</b>	יואקני	1 15/6//•	J 62/6	~/\	-,	* 13L	小貝		-177						2024年1月 米田の小心	
日	曜	時刻	水位	流速	流量	雨量		温 水温 PH 電導率				その他(生物、透視度等)					
			cm	目視	m3/分	mm	°C	°C		μs	ア	オ	カ	ザ		その他	
1	月	17:20	瀬切れ	,			8.0				2				4	スジエビ1 アオサギ1 ダイサギ1 アオジ1 シジュウカラ1	
2	火	17:25	瀬切れ	,		2	7.3				25	2	2	1	4	キジバト2 メジロ3 シジュウカラ2	
3	水	17:05	干上り			0	7.6				27				20	<b>クロメダカ4</b> ヒヨドリ1 アオジ1 メジロ2 シジュウカラ1	
4	木	17:20	干上り				9.8				6				6	アオジ1 シジュウカラ1	
5	金	17:30	干上り				11.8									ダイサギ1 アオサギ1 カワセミ1 メジロ2	
6	±	17:20	干上り				14.1									アオサギ1 キジバト2 シジュウカラ1	
7	日	17:20	干上り				7.5									アオサギ1 ヒヨドリ1 キセキレイ1	
8	月	17:20	干上り				5.7									キジバト1 アオサギ1 ヒヨドリ1	
9	火	17:25	干上り				10.1									ドバト群13	
10	水	17:30	干上り				8.8									メジロ2 ドバト群	
11	木	17:30	干上り				4.9									メジロ1( <mark>窓ガラスに衝突</mark> ) アオサギ1 シジュウカラ1	
12	金	17:30	干上り				7.7									モグラ塚 ヒヨドリ1 ドバト群5	
13	±	17:20	干上り			2	4.0									アオジ1 メジロ2	
14	日	17:20	0.6			1	9.5	6.2	7.0	200						モグラ塚 メジロ2	
15	月	17:30	干上り				5.8									ゴイサギ1 メジロ2	
16	火	17:30	干上り	١			6.0									モグラ塚 メジロ1 シジュウカラ1	
17	水	17;00	干上り	١			8.0									シジュウカラ1	
18	木	17:25	干上り	١			11.4									シジュウカラ1	
19	金	17:30	干上り	1			10.3									コサギ1 アオサギ1 シジュウカラ1	
20	±	17:40	干上り	١		1	6.6									(大寒) ダイサギ1 アオサギ1 シジュウカラ1	
21	日	17:30	23.0	泥泥	氘	59	9.2	9.2	6.9	77						アオジ1 アオサギ1 コサギ1 ダイサギ1 メジロ2 シジュウカラ2 カルガモ2 <mark>カワセミ1</mark>	
22	月	17:10	17.0				11.9	10.4	7.0	165				1		シジュウカラ1	
23	火	17:40	18.8	良況	氘		8.7	9.6	7.1	183				1		ジョウビタキ1 ムクドリ群20 ハクセキレイ1 シジュウカラ1	
24	水	17:20	13.0				5.7	5.9	7.1	198						ツグミ1 ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2	
25	木	17:30	12.7				5.6	5.7	7.0	200				1	1	ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2	
26	金	17:30	10.8				7.1	5.2	6.9	200	1				3	メジロ1 シジュウカラ1 <mark>カワセミ1</mark>	
27	±	17:10	9.0				7.4	6.1	7.0	210					1		
28	日	18:20	7.0				5.9	5.7	6.9	220					2	ヒヨドリ1 メジロ2 シジュウカラ2	
29	月	17:20	6.0				7.3	6.8	7.0	210					3	メジロ2 シジュウカラ4	
30	火	17:50	干上り				6.1								1	メジロ2 シジュウカラ2	
31	水	17;25	干上り				13								6	メジロ2 シジュウカラ2	
Ē			11.8	良1		65	8.2	7.1	7.0	186	61	0	2	4	51	スジエビ1 クロメダカ4	
特記																	

特記

水位が18cmを超えたのは2日間のみで、31日間の内瀬切れが2日、干上がりが18日もあった。川の中にできた水溜りに稚魚が集まり、アオサギ等の大型サギ類に捕食されていた。稚魚の一部は掬い出し水槽に保護した。水位が安定したら川に戻したい。20日の降雨で直ぐにに戻ってきたのはヌマエビ・アメリカザリガニであった。気温の変動も激しい。上瀬谷開発によって水の供給の不安定さが増すことが無いように願いたい。メジロが窓ガラスに衝突して脳震盪状態になったが、20分ほどで快復し飛び立った。